

SBSカップ 国際ジュニア サッカー

最終日

6-1 県選抜、1点をやつと

青丘、圧倒的強さで優勝

▽決勝
青丘 6-1 0 県選抜
(静岡) 6-1 0 1 県選抜
▽交代【青】郭漢栄(柳海相)
【県】朝比奈(宮本)
▽得点者【青】白鍾哲4、白致守、曹容善【県】小花
▽アシスト【青】邊柄柱、梁漢栄
【県】池田
【評】試合開始1分、青丘の白鍾哲が県選抜守備ラインのスキを突いてドリブルで切り込み、左すみへシュート。県選抜はあっさり先行を許したが、動きは悪くなかった。中盤でパスを回し、両サイド、とくにF B外岡の攻撃参加でよく反撃した。最終ラインの思い切りのよい突破とラストパスの正確さにやや欠けたため、得点には結びつかなかったが、前半はほぼ互角にわたり合った、とみる。後半に入ると、地力に勝る青丘は一気にスパートした。2分、エ

1 ストライカー邊柄柱の右サイドからのセンタリングを白鍾哲が頭で決め、さらに3分、曹容善が右から幸運な3点目。その後も中距離パスを正確につなぎつつバックスの押し上げで分厚い攻撃を繰り返し、14分にはまたまた白鍾哲

がワントラップシュート。県選抜は青丘の激しい運動量とスピードについていけず、防戦一方。20分を過ぎたころから反撃に出たが、攻守の切り替えが遅いため、攻撃に厚みがなく、単調な攻撃を繰り返した。やっと31分、左

から攻め、池田のパスを小花がボレーで右スミに運んでようやく一矢を報いたが、戦局には全く響かなかった。県選抜の直接の敗因はスピードについていけなかったことだが、ゴール前の空中戦にすべて負けたことも見落とせない。



決勝、青丘―県選抜 前半1分、青丘は白鍾哲がドリブルシュートしてあっさり先制点―草薙球技場で

(静岡新聞 1979年8月20日朝刊)